



### 九 下総国分寺

聖武天皇の詔によって建てられた下総国の国分寺。当時の正式名称は「金光明四天王護国之寺」で、仏教によって国を守ろうという天皇の方針に沿ったものです。発掘調査の結果、金堂・七重塔・講堂の基壇(基礎)が見つっています。直接の関係はないものの、法隆寺と同じであったため法隆寺式伽藍と言われる配置です。



### 十 下総国分尼寺跡

国分寺同様、聖武天皇の詔によって建てられました。昭和7年の発掘調査で「尼寺」と墨書された土器が見つかるまで国分尼寺だったことは忘れ去られ、「昔堂」と呼ばれて国分寺とされてきました。当時の正式名称は「法華滅罪之寺」といい、法華經の教で人々の罪を消去するという思いが込められています。近くには「窪園」という仏に供える花の園があったようです。



### 十一 庚申塔

2つの庚申塔が道を挟んで建っています。東側は根古屋、西側は北台と字が違います。江戸時代に盛に行われた庚申講のなごりで、体の中にすむ虫が庚申の日の夜抜け出し、天帝に告げ口するのを防ぐため、夜通しお酒を飲んだとか。側面には「まつと道」「大はし道」と彫っており、昔は道標として旅人には欠かせない存在でした。



### 十二 日枝神社・龍珠院

イチヨウの巨木がそそり立つようすが印象的な神社です。鳥居の近くには、力比べをするのに使ったと言われる「力石」があります。かつては船の形をした「船みこし」を川に流していましたが、現在ではみこしを神前に供える神事となっています。隣接する龍珠院には本堂正面に弘法大師像、参道に桜の古木があります。



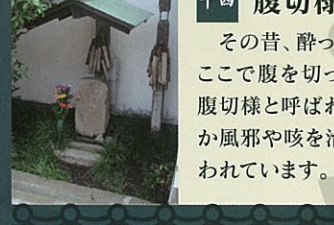
### 十三 竺園寺

南北朝時代に創建。かつては北国分にありましたが、のちに竹園山法泉寺から喜州和尚を招いて現在の位置に移されました。この時もたらされた十一面観世音菩薩坐像が本尊です。境内には四方に枝を巡らせた臥龍の松と細やかに設えられた日本庭園があり、たいへん見ごたえがあります。



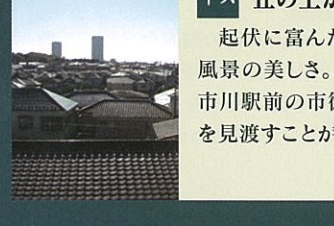
### 十四 腹切様

その昔、酔っぱらったお侍がここで腹を切ったと伝えられ、腹切様と呼ばれています。なぜか風邪や咳を治してくれると言われています。



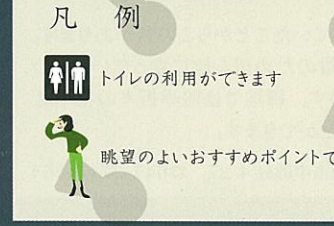
### 十五 宝珠院

本尊は享保年間の作と伝わる薬師如来。平成16年に市川在住の仏像彫刻家・堂本寛恵さんが月光・日光菩薩像を制作したことで話題に。



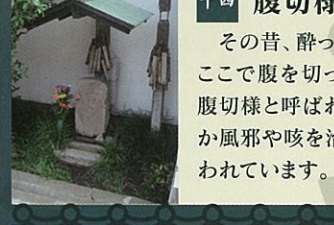
### 十六 丘の上から市内を眺望

起伏に富んだ地形が市川の風景の美しさ。この場所からは市川駅前の市街地を含め市内を見渡すことができます。



### 十七 瓦窯跡

国分寺の瓦を焼いていたとされる窯の跡地です。最近の調査で2基の窯跡と梵鐘をつくった跡が確認されました。



**凡例**

- トイレの利用ができます
- バス停があります
- 眺望のよいおすすめポイントです
- 道標が設置してあります